

# 一般会計予算に対する討論

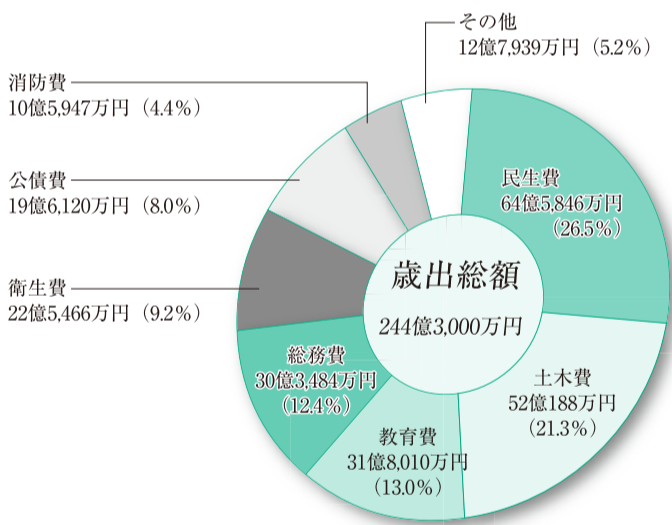
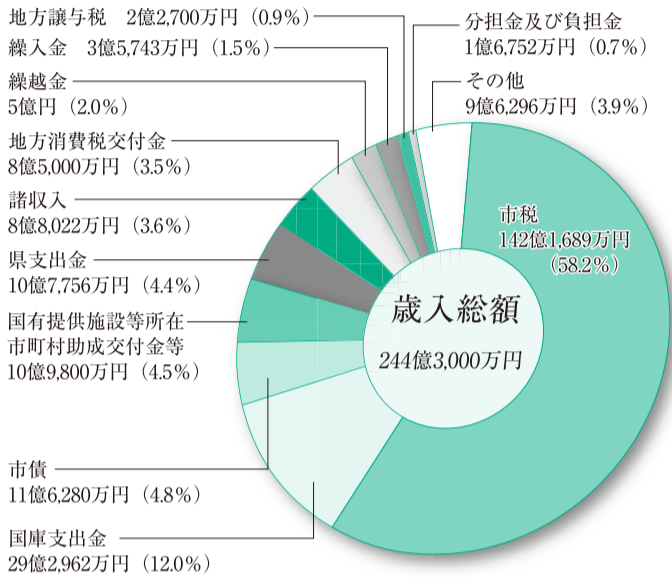
平成20年度一般会計予算は、3月定例会最終日に可決されました。この議決に先立ち、同予算に対する討論が行われ、5人の議員が賛成意見を、2人の議員が反対意見を述べましたが、その概要は次のとおりです。

## 賛成

●一般会計予算は、前年度比2・6%増の総額244億3000万円です。市民生活重視の政策を優先した予算編成となっている。歳入では、根幹をなす市税が、固定資産税の家屋新築分による増収や企業の設備投資による償却資産の増収が見込まれることなどから、前年度比1%、1億3800万円ほどの増収が計上されている。歳出では、市民協働のための情報公開を推進する市議会のインターネット中継や生涯学習充実のための図書館指定管理者制度の導入、年々深刻化するごみの減量化と資源化を一層推進するための、モデル地区を設定しての、せん定枝や可燃性プラスチック、廃食用油などの分別回収など、市民福祉実現への事業が盛り込まれている。しかし、ここ数年市民生活は、年々大幅に増加しており、弱者救済に最大限配慮しつつ、改善しなければならぬ。将来の行政課題は、税増収が望めず、少子高齢化で社会福祉費が急増、地球規模の環境悪化の中での持続可能な社会づくりである。そのためには、効率的な行政経営を着実に進めることを願い、新年度予算に賛成する。

●世界同時株安が進行するなど、今年度の日本経済は波乱の幕開けとなっている。また、地方財政健全化法が制定されるなど、自治体の経営力がますます問われている。本予算は前年度比2・6%増という積極的な予算編成となっている。特に教育では、綾西小学校の増築工事や中学校の武道場建設などが予定されている。また、小学3年生にも少人数授業を実施

## 一般会計予算の内訳



## 平成20年度各会計の予算規模

会計名	平成20年度(円)	平成19年度(円)	比較		
			増減(円)	対前年度伸率(%)	
一般会計	244億3,000万	238億	6億3,000万	2.6	
特別会計	国民健康保険事業	87億2,700万	84億7,000万	2億5,700万	3.0
	老人保健医療事業	5億4,300万	31億2,000万	△25億7,700万	△82.6
	下水道事業	44億2,700万	37億1,000万	7億1,700万	19.3
	深谷中央特定土地区画整理事業	13億6,000万	17億1,000万	△3億5,000万	△20.5
	介護保険事業	25億1,200万	23億	2億1,200万	9.2
	後期高齢者医療事業	5億1,000万		5億1,000万	皆増
	計	180億7,900万	193億1,000万	△12億3,100万	△6.4
合計	425億900万	431億1,000万	△6億100万	△1.4	

※下水道事業の増減額・伸率は、公営企業借換債(H20:6億8,500万、H19:2億470万円)を含んだ金額・伸率

## 反対

●に事欠かない状況である。このようなか中、本市の財政は、社会保障関係費の自然増が見込まれるなど厳しい状況にある。簡素で効率的な行政システムの確立と行政改革を推進するとともに、歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、歳入でも自主財源の積極的な確保を講じるなど、引き続き効率的で健全な財政運営を願う。予算編成を見ると、国庫補助金を活用した公園整備事業や学校の増築などで予算額が膨らんでいるが、厳しい財政状況ながら、通学路交差点のカラー舗装化や小児医療費助成、シニアあつたか相談、援農ボランティア養成など、新たな事業や拡充した事業が予定されており、おおむね評価できる。市民要望の把握に努め、縦割り行政と擲論されないよう、所管を超えて連携し、市民サービス向上に取り組みすることを要望し、本予算に賛成する。

●わが国は、年金問題や景気の先行き不透明さ、少子高齢化の進展など、多くの難題に直面している。本市でも、簡素で効率的な市政運営とともに、職員の資質とサービスの向上が厳しく求められる。本予算は、堅実でありながら、公約である9つの政策を着実に推進する積極的な予算である。歳出では、民生費は後期高齢者医療事業にかかる負担金や扶助費など、土木費は緑の保全に効果的な公園用地取得費が要因で増している。12・6%増の教育費は、城山、深谷地区の児童増による小学校校舎の増築、春日台・綾瀬両中学校の武道館建設、小学3年生の少人数授業実施など学習環境向上を重視している。細かい点では、災害時などの情報提供に役立つ地域要援護者手帳の配付、子育て支援を強化する小児医療費助成の拡充、安全快適な交通環境を目指した電線地中化の詳細設計、農家を支援する援農ボランティアの育成など、安全安心などへの配慮や創意工夫を高く評価する。都市・地域経営への市長の行政手腕発揮を期待し、本予算に賛成する。

●施政方針で、予算編成は包括予算で行ったと述べている。これまでは市全体で削る場所を選んでいしたが、自分の事業を削らないと事業拡大が困難であることを心配する。市長の立候補表明では、産業の基盤整備や活性化が最優先に取り上げられているが、後期高齢者医療制度の導入で、高齢者の負担が大きくなっている。産業開発より暮らしを優先する予算